

(様式第3号)

津山市議会出前懇談会開催結果報告書

令和6年2月1日

津山市議会議長 様

出席議員代表 政岡大介  
報告者 白石まこと

津山市議会出前懇談会を下記のとおり開催しましたので報告します。

記

開催日時	令和6年2月1日 午前10時00分 ~ 午後12時00分
開催場所	全員協議会室
議題	県北地域の結婚式実施率低下と今後について
参加団体名	ブライダル関係者14名
出席議員	政岡大介、上山はるうみ、白石まこと、松本義隆、丸尾勝
懇談内容	○開会 ・政岡大介副委員長挨拶 ・参加者代表挨拶 ・出席者自己紹介  (1) テーマについて説明 リクルート中島さんが資料やアンケートを元に説明し、各自治体の取り組みも紹介してくれた。 県北の結婚式がとても減っており、さらにコロナで拍車がかかった。 結婚式に関する全国での経済波及効果は約4兆円、雇用効果36万人、1組増える事による経済波及効果は658万円。

間接的な雇用や経済効果を創出し地域における経済・雇用において重要な産業の1つ。

離婚率を下げる効果もある。

津山市の披露宴実施率は推計で33.6%で非実施層が約239組存在している状況。

2023年は月に11組の方が市外に流出(市外での挙式)している。

津山市の流出層のカスタマニーズ

- ・地元の式場の雰囲気の魅力を感じない(30%)
- ・県外からの来館者のアクセス面を考えた(20%)

津山市の未婚・非実施層のカスタマニーズ

・津山市の未婚・非実施層のカスタマニーズとしては75%の方が結婚式を挙げたいと思っている。

・フォト婚のみで満足できる(38%)、主役が恥ずかしい(25%)、お金を旅行費用に回したい(38%)

各自治体の取り組み

- ・茨城県の「街中に花嫁を！」
- ・子育てし大県”さが”佐賀県

## (2) 意見交換

順番に参加者の方に現状や行政に対する要望などを伺った。

- ・今の結婚式のスタイルが固い。
- ・コロナ前から「ナシ婚」という言葉が増え、籍は入れても式は挙げないという方が増えた。
- ・ふれあいパーティーなどを行政が企画して欲しい。
- ・価格を下げたり努力もしているが値段が低いからといってお客さんが来るわけではない。
- ・中小企業が賃上げに前向きになれるような施策をお願いしたい。
- ・流出を止めるか？非実施の方に式を挙げる為の二択しかないと思っている。
- ・結婚式に補助金を出して頂きたい。
- ・カスタマーを動かす為のイベント(式場のマルシェ)
- ・過去売ってきたコンテンツがこのような状態になっている。
- ・結婚式を人生の必需品にしていく事(業界の方達が考えていく)
- ・コロナ前は憧れからコロナ後は親御さんに見てもらいたい。ゲストに感謝を伝えたいに変化してきている
- ・人生を謳歌している友人の方が結婚してない。
- ・津山市がまちのもっと魅力アップを考えて欲しい。

- ・結婚後に不安になる方が増えた。(生活費に支援してほしい)
- ・津山でしかできないようなプランニングが大事。

など様々な意見を頂き、議員側も一人一人回答した

。

- ・どの業界もネットが普及し流出を防ぐことは難しいのでやはり津山らしさを取り入れたプランニングが重要。
- ・補助金を出すのは簡単だが結婚式を挙げる事で津山市としてどのような効果があるかをもってないと難しい。また、他の業種も苦しくなっているのは一緒なので難しい。
- ・津山の来館者をターゲットにしているには限界がある。逆に都会の方や外国の方向けにしていかなければ生き残れない。
- ・一番は価値観の変化が原因なので10万円補助金が付いたからといって津山で結婚式が増えるとはあまり思えない。
- ・行政として協力できるとしたら公共施設を会場に使用することへの協力などはできる。昨年、作州民芸館でも行ったし、例えば母校の中学校で結婚式を挙げても面白い。
- ・城西地区で人力車を購入したので、それを用いたプランニングも喜ばれるのでは。

まとめ

今回、来て頂いた方は皆さん行政に要望があるというよりは今の現状について相談がある方もいましたしどうしたらいいのか分からない方もいたのではないかと感じた。

結婚式を挙げるかどうかは個人の問題なので議員としても皆さんを満足させられるような意見は出せなかった。

ただ今回の懇談会をきっかけに今後もこのような交流を続けていき共にこの問題について考えていければありがたい。

産業委員会として初の懇談会でしたがとても有意義で市民の方も最初は緊張感で溢れていましたが徐々に雰囲気もよくなり、こういった活動一つひとつが主権者教育に繋がると感じた。